



Media: Medical Tourism Magazine
By Gaby Dorman, Luxurique Inc.

Title: Japan's Longevity Quest: Embark on a Journey to Prolonged Health and Wellbeing in Japan's Advanced Medical Landscape ,

Issue Date: Jan. 24, 2024

Link: https://www.luxurique.com/files/ugd/4c1bc7_ddedc3d106c74949af932fb8fe133863.pdf

メディア: 『メディカルツーリズムマガジン』

タイトル: 日本の長寿探求: 日本の先進医療で健康長寿の旅に出かけませんか
By Gaby Dorman, Luxurique Inc.

掲載日: 2024年1月24日

内容: メディカルツーリズム協会のメンバーであるラグジュリークの記事が、MTA (Medical Tourism Association) の会員誌に掲載されました。日本におけるメディカルツーリズムの魅力とラグジュリークがどのようにウェルネスとヘルスチェックアップの要素を旅程に組み込んでいるかをご紹介します。

世界の富豪たちは、ソーシャルメディア、e-commerce、検索エンジン、AI、宇宙旅行などを制覇しました。ですから、彼らの関心が最も魅力的な探求、つまり、より長くよりよく生きることに向けられているのは驚くことではありません。

著名な億万長者たちは長寿を追い求めています。元ツイッターCEOのジャック・ドーシーは、1日1食、氷風呂、瞑想という厳しい健康法で知られています。アマゾンの創業者ジェフ・ベゾスとオープンAIのCEOサム・アルトマンは、長寿を目指すバイオテクノロジーのスタートアップ企業に投資しており、起業家でベンチャーキャピタリストのブライアン・ジョンソンは不老不死を追い求めることを使命としています。彼の最新のベンチャー事業である「プロジェクト・ブループリント」では、食事の操作やサプリメントの摂取、さらには輸血を行うことで、バイオマーカーを改善するための人体実験を行っています。

日本での長寿

長寿を真剣に願う人々にとって、日本はますます注目の的となっています。Journal of the Royal Society of Medicine^{※1}に掲載された調査結果によると、日本の平均寿命は世界で4番目に長く、これは、肥満率の低さ、赤身肉の消費量の少なさ、魚や大豆やお茶などの植物性食品の消費量の多さといった生活習慣によるところが大きいとされています。また、禅宗徒を通して培われたマインドフルネスも影響していると思われます。

※1 Journal of the Royal Society of Medicine: 王立医学協会ジャーナル。英国王立医学会の主力ジャーナル1809年より発行。



日本の優れた医療制度が長寿の要因であることはほぼ間違いなく、医療ツーリズムの需要が急成長しているのもそのためです。メディカルツーリズム協会のメンバーであり、ホスピタリティとイベントのマネジメント企業であるラグジュリークでは、VIP顧客のために非常にエクスクルーシブなメディカルツーリズムの旅程を企画することで、その需要に応えています。

「私たちの顧客にとって日本のメディカルツーリズムの大きな魅力は、顧客の多くが医療データが保護されていない可能性のある国から来ているということです。私たちのお客様は、年に1度か2度、全身の健康診断と数日間の旅行のために来日されます。」（株式会社ラグジュリーク CEO 眞野より）

PHOTO

これらの健康診断は、血液検査、聴力検査、尿検査、胸部X線検査、胃バリウム検査、腹部超音波検査、心電図検査、視力検査、各種がん検査などを含む非常に包括的なもので、オプションで追加検査を行うこともできます。これらの検査は驚くほど効率的で、通常は半日で終わるため、メディカルツーリストは検査の前後に日本を探索したり、日本の文化を体験する時間をたくさんとれるのです。

日本のメディカルツーリズム

ラグジュリークでは、健康面でのご手配だけでなく、お客様のご要望に合わせたアクティビティもご用意しております。従業員へのインセンティブとして企画される場合、旅程には、徹底的な健康チェックに並行して、プライベートな観光ツアーや健康とリラクゼーションを促進するアクティビティが含まれることもあります。ラグジュリークで最も人気のあるウェルネス体験には、日本の曹洞宗の総本山で座禅を学んだり、温泉街で一息ついたり、旬の食材に舌鼓を打ったり、日本の大自然を探索したりするものがあります。日本の現代医学と古来からの健康法を組み合わせることで、雇用主は従業員にホリスティックな全方向からの健康へのアプローチを提供することができます。「ライフスタイルは長寿の大きな要素です。ストレスに対処し、心と感情のバランスをとることを学ぶということは、禅の精神に由来しています。禅の教えは、何かをあれこれ悩むことなく認めることで、それは自分の中を流れるようになるというものです。ウェルネスと医学の両方の観点からライフスタイルを維持する方法を学ぶことが、私たちが達成しようとしていることなのです。」（株式会社ラグジュリーク CEO 眞野より）

日本のメディカルツーリズムを利用したいとお考えのラグジュリークのお客様には、旅程に、日本でのヘルスケアをサポートするために必要と思われる世界一流の専門家の紹介を含めることができます。各旅程は、予約、送迎、ガイド、ホテルなど、すべてを組み込みパーソナライズされたものです。細部に至るまでストレスのないスケジュールをお約束します。

旅行中に医療を受けられる場所は、日本全国から選ぶことができます。便利でエキサイティングな大都市から、回復と休養を重視するゆったりとした雰囲気の方まで、さまざまな選択肢があります。



日本の再生医療

日本の医療は軒並み世界最高水準にあります。しかし、最近日本へのメディカルツーリストが特に関心を寄せているのは、ある新しい分野です。日本は幹細胞治療の最前線にあり、また、幹細胞治療の法制化によって、施術者は高度に規制されていることも重要な点です。

再生医療としても知られる幹細胞治療は、損傷した組織を修復・再生するために体内の細胞を利用します。がん、パーキンソン病、損傷した軟骨の修復、椎間板ヘルニア、変形性関節症、アンチエイジングなど、さまざまな治療に利用できます。

日本の幹細胞研究への進出は、2006年に山中伸弥氏と高橋和利氏の2人の科学者の研究が、幹細胞研究の極めて重要な転換点となる突破口を開いたことから始まりました。この研究チームは、成人の幹細胞を胚の状態に再プログラムすることが可能であることを発見し、ヒト胚性幹細胞の効果的な代替品を提供しました。山中氏はこの研究でノーベル賞を受賞し、日本が医療技術の最先端を走り続ける地位を固めました。

メディカルツーリストにとっての日本のさらなる魅力は、高度に規制された日本の医療行為です。「幹細胞治療が合法的な国はたくさんありますが、それに対応する新しい法律が施行されていないので、規制されていないのです。でも日本はとても慎重で安全な国です。そのため、多くの人が幹細胞治療のために日本を選ぶのです。少し高価ですが、健康は投資に値するのです。」（株式会社ラグジュリーク CEO 眞野より）

株式会社ラグジュリーク

ラグジュリークは2023年よりメディカルツーリズム協会に加盟。国際市場に特化した日本随一のホスピタリティとイベントのマネジメント企業です。お客様がご到着された瞬間から、ご出発される瞬間まで、オーダーメイドの旅程をあらゆる側面からサポートいたします。医療訪問、家族旅行、高級ブランドイベント、VIP訪問、企業インセンティブプログラム、特別なプライベートツアーなど、全ての要素が統合された唯一無二の体験をお届けします。プランニングの専門知識と、日本のビジネス・健康・文化など各分野におけるパートナーとのネットワークを通じて、最高の日本を発見するお手伝いをいたします。2014年以来、マルチリングルで専門スキルに富んだ人材で構成されるチームが、ラグジュアリーなホスピタリティとトラベル市場向けにオーダーメイドの体験やイベントをご案内しています。